

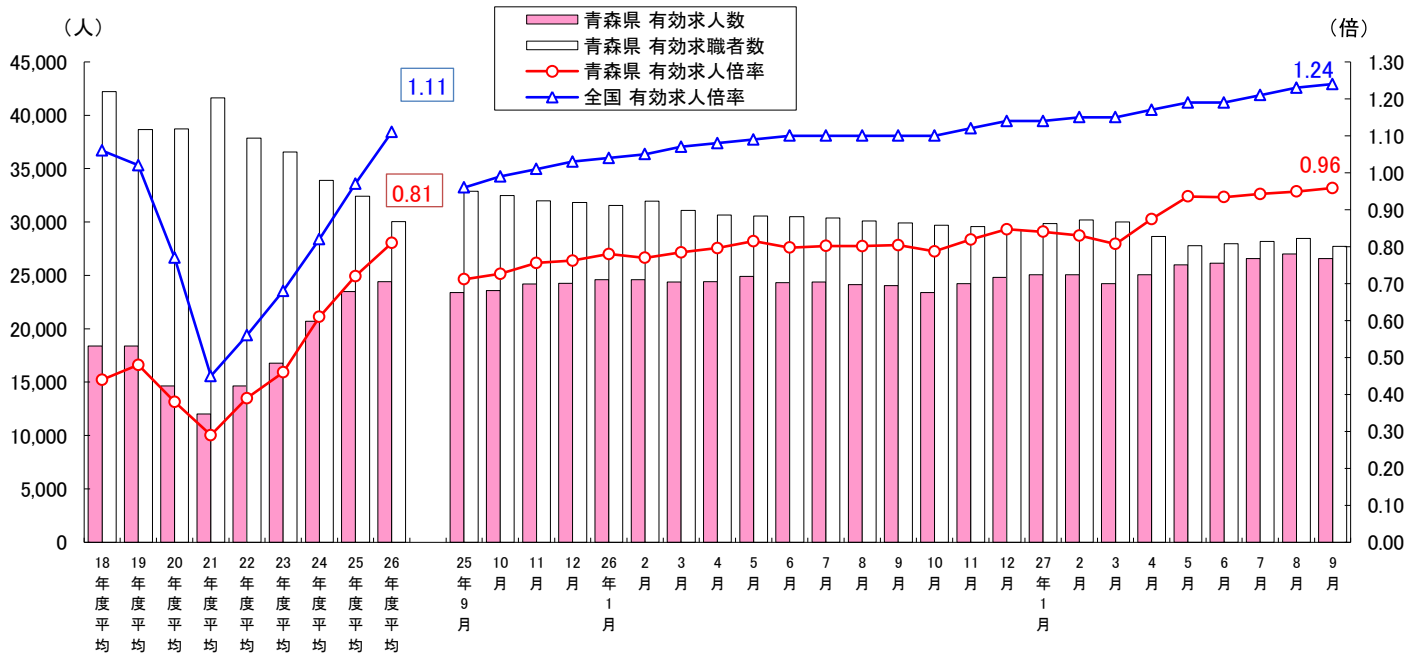
最近の雇用情勢について

(平成27年9月)

青森労働局

I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

9月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ1.7%減少の26,563人、有効求職者数(同)は2.7%減少の27,707人で、有効求人倍率(同)は前月より0.01ポイント増加の0.96倍となった。

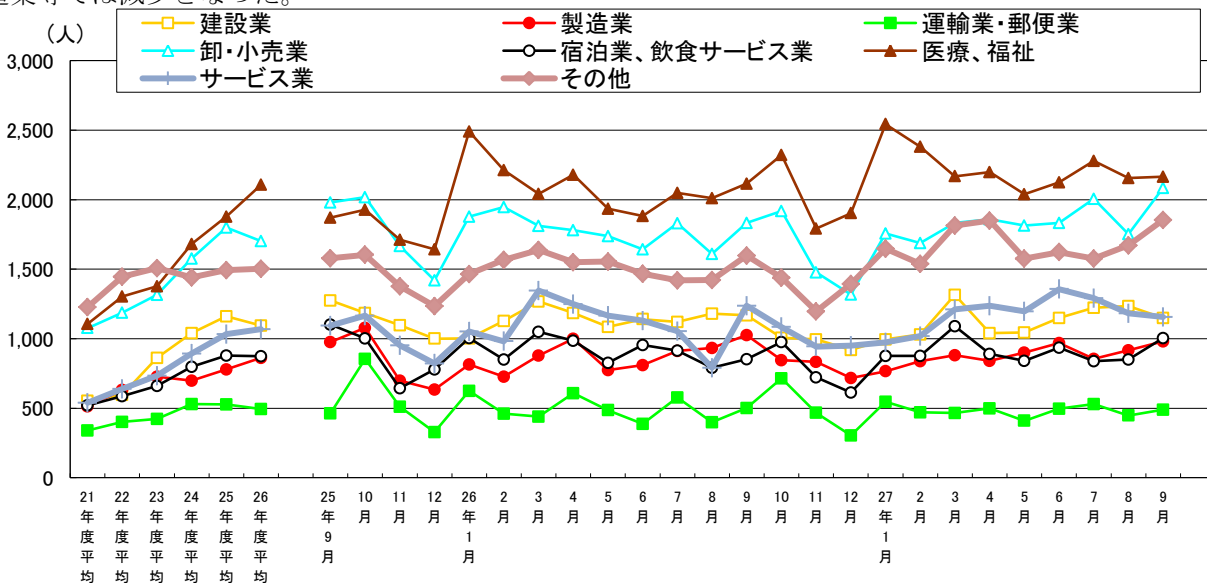


(注)季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成23年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

9月の新規求人(原数値)は前年同月比5.3%(547人)増加、前月比6.6%(672人)増加の10,883人。

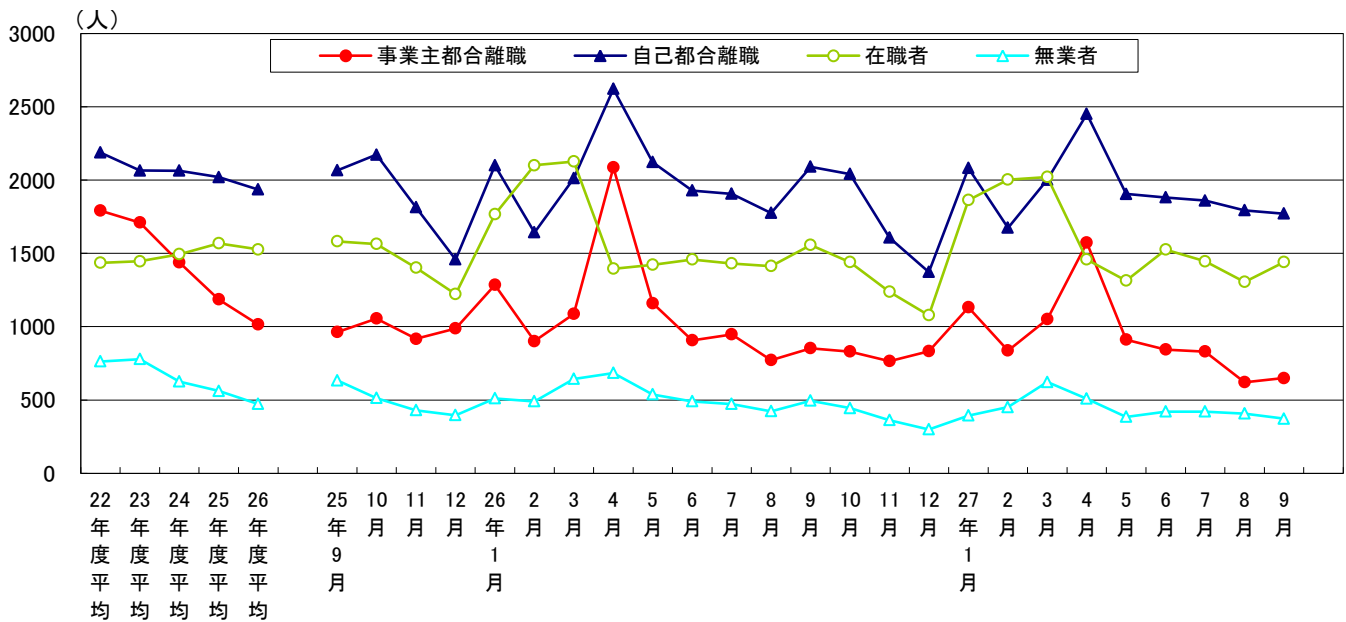
産業別に前年同月と比較すると、卸売業・小売業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉等で増加し、建設業、製造業、運輸業、郵便業、サービス業では減少となった。製造業では、食料品、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、鉄鋼業、非鉄金属製造業、金属製品製造業、輸送用機械器具製造業等で増加し、印刷・同関連業、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業等では減少となった。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。

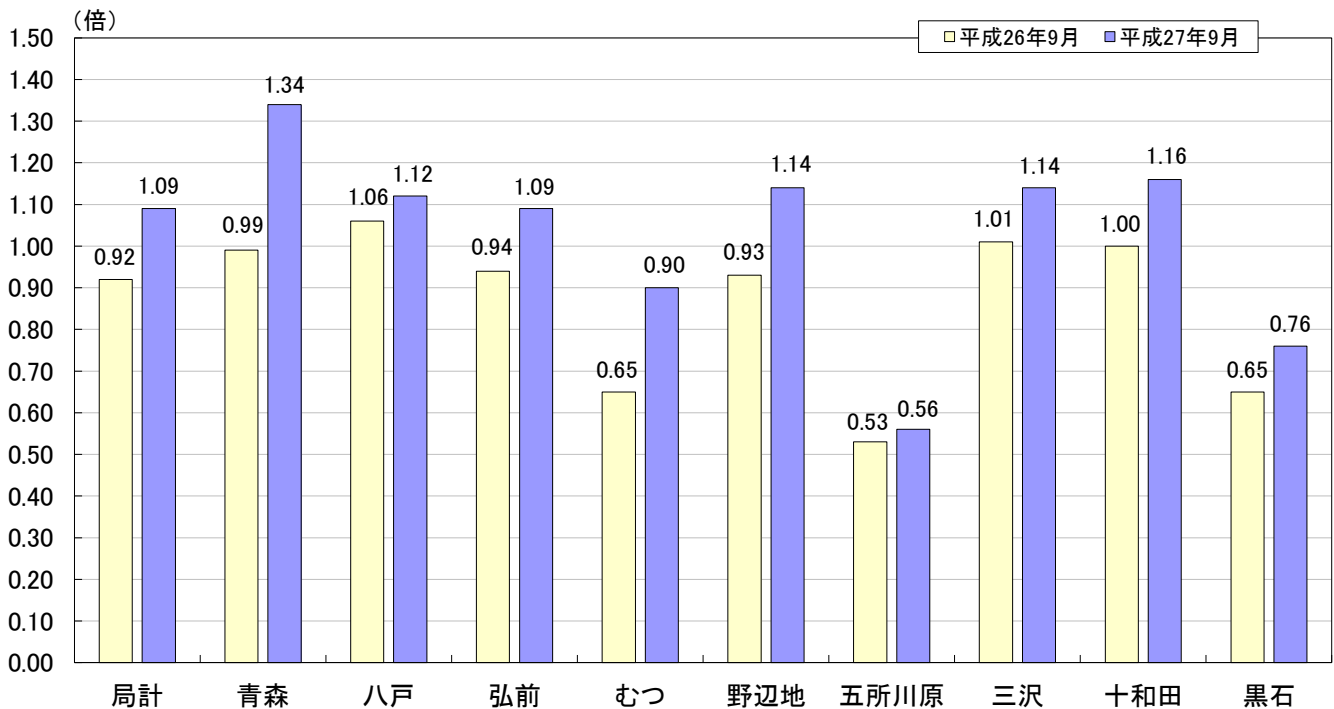
Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

9月の新規求職者数は、前年同月比15.6% (795人)減少、前月比2.3% (98人)増加の4,315人。
 求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は7.6% (118人)減少し、離職者は18.1% (555人)の減少、
 無業者は、24.7% (122人)の減少となった。
 離職理由でみると、事業主都合は23.8% (203人)の減少、自己都合は15.2% (318人)の減少となった。



Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

9月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.09倍となり、前年同月を0.17ポイント上回った。
 各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。

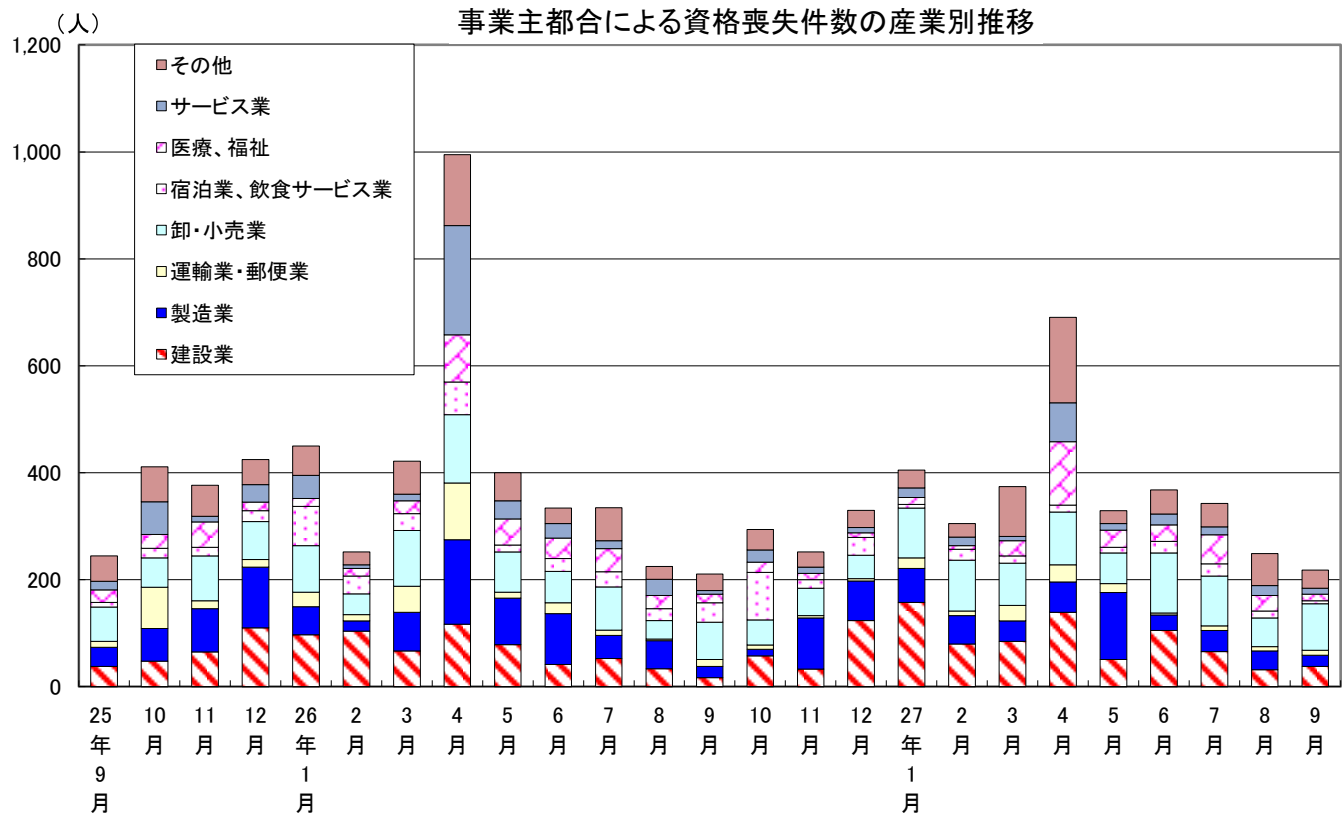
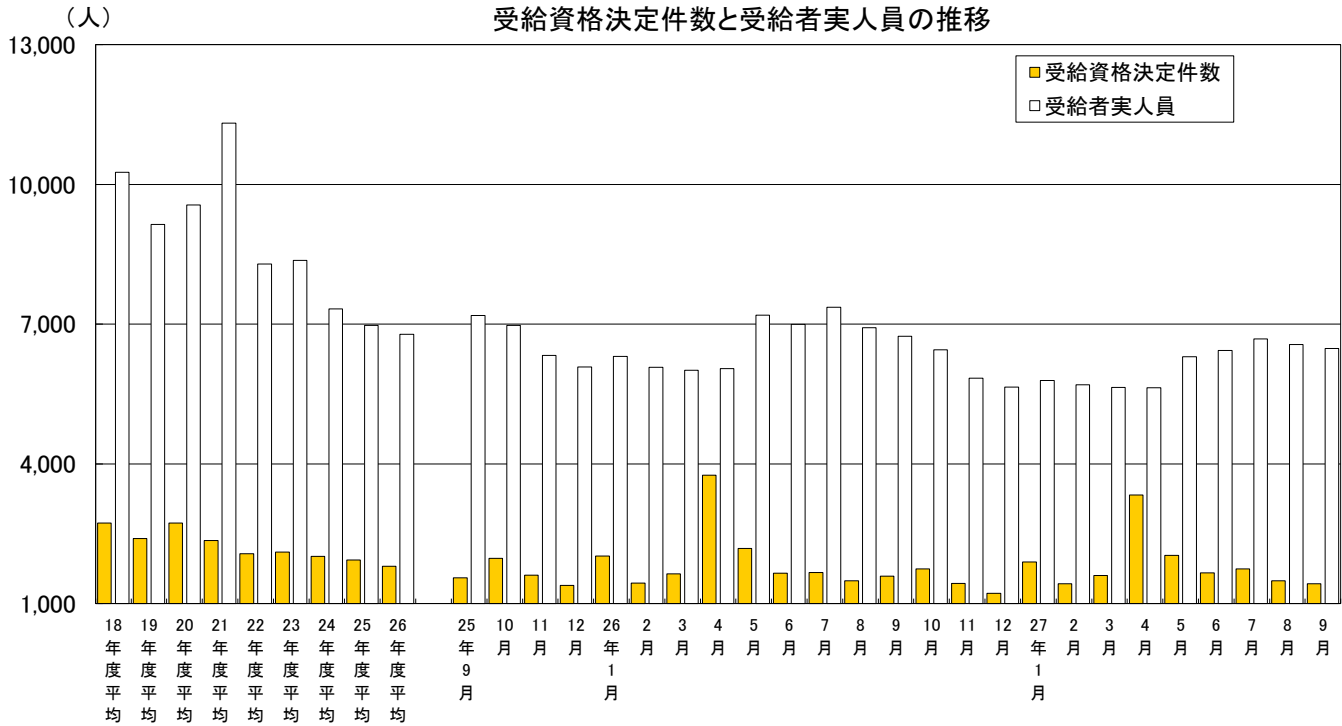


	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	25,482	6,275	6,060	4,739	1,155	797	2,436	1,467	1,129	1,424
有効求人数	27,764	8,437	6,767	5,186	1,040	911	1,361	1,666	1,309	1,087

V 雇用保険の状況

9月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比3.8%（257人）減少、前月比では1.3%（84人）減少の6,480人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比10.2%（162件）減少、前月比では4.4%（65件）減少の1,429件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比3.3%（7人）増加、前月比12.4%（31人）減少の218人となっている。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。